



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 東洋炭素株式会社

コード番号 5310 URL <https://www.toyotanso.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役会長兼社長 （氏名）近藤 尚孝

問合せ先責任者 （役職名）財務経理部長 （氏名）久野 正樹 TEL 050-3097-4950

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	34,095	△12.7	5,420	△41.5	6,014	△38.2	4,531	△37.0
2024年12月期第3四半期	39,062	8.5	9,266	38.5	9,737	26.4	7,189	23.7

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 3,890百万円（△49.0％） 2024年12月期第3四半期 7,633百万円（△0.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	216.06	—
2024年12月期第3四半期	342.80	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	112,205	95,051	84.7
2024年12月期	113,190	94,205	83.2

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 94,994百万円 2024年12月期 94,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	145.00	145.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	145.00	145.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	48,000	△9.6	7,500	△38.7	7,000	△48.1	5,000	△49.8	238.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 上海東洋カーボン貿易有限公司、除外 1社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は【添付資料】7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「会計方針の変更に関する注記」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期3Q	20,992,588株	2024年12月期	20,992,588株
2025年12月期3Q	20,372株	2024年12月期	20,277株
2025年12月期3Q	20,972,269株	2024年12月期3Q	20,972,386株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	11
(1) 品目別の受注及び販売状況	11
(2) 概況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間においては、世界景気の持ち直しが緩やかになり、一部地域においては足踏みが見られる他、米国の通商政策等の影響により、先行き不透明な状況が継続しました。

当企業グループを取り巻く事業環境は、エレクトロニクス分野では、生成AI向けの最先端品等一部用途の需要は旺盛ながら、半導体市場全般としては調整が継続し、シリコン半導体やSiC半導体等の用途は低調な動きとなりました。また、自動車産業の稼働や企業の設備投資には底堅さが見られる一方で、世界経済の不確実性にともなう停滞感もあり、モビリティ分野や一般産業分野の需要は緩やかなものに留まりました。

このような状況の中、当企業グループでは、製品・用途構成のバランスをコントロールしながら外部環境の変化に対応し、着実に需要を取り込んでまいりました。さらに、中期経営計画における経営目標を達成するべく、技術革新に追随しうる高付加価値製品の増強・開発に取り組むとともに、生産性向上によるコスト競争力の向上を図る等、高度化する顧客ニーズに対し、製造・販売・開発が一体となり付加価値の高いソリューションを提供してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高34,095百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益5,420百万円（同41.5%減）、経常利益6,014百万円（同38.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,531百万円（同37.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。（品目別の概況は「3. 補足情報」をご参照ください。）

日本

工業炉用等の冶金用や軸受等の機械用カーボン分野が底堅く推移したものの、半導体用が市場の調整を受け大幅に減少したこと等により、売上高17,756百万円（前年同期比16.5%減）、営業利益3,566百万円（同56.7%減）となりました。

米国

半導体用等は堅調に推移したものの、連続鋳造用や工業炉用等の冶金用が減少したこと等により、売上高3,184百万円（同18.4%減）、営業利益69百万円（同87.4%減）となりました。

欧州

主力の冶金用が減少したこと等により、売上高3,730百万円（同8.5%減）、営業利益75百万円（同185.9%増）となりました。

アジア

工業炉等の冶金用や半導体用は堅調に推移したものの、カーボンブラシ製品が減少したこと等により、売上高9,423百万円（同4.1%減）、営業利益381百万円（同38.3%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ985百万円減少いたしました。

これは主に棚卸資産が3,230百万円増加、未収法人税等の増加等により流動資産のその他が582百万円増加および有形固定資産が3,583百万円増加したものの、現金及び預金が3,024百万円減少、受取手形及び売掛金が2,946百万円減少および有価証券が2,499百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,832百万円減少いたしました。

これは主に1年内返済予定の長期借入金が1,080百万円増加および長期借入金が4,034百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が637百万円減少、未払金が1,157百万円減少、未払法人税等が2,230百万円減少および営業外電子記録債務の減少等により流動負債のその他が2,835百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ846百万円増加いたしました。

これは主に為替換算調整勘定が743百万円減少したものの、利益剰余金が1,490百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年8月7日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,000	12,976
受取手形及び売掛金	17,609	14,663
有価証券	2,499	—
商品及び製品	11,642	13,908
仕掛品	9,597	10,294
原材料及び貯蔵品	5,577	5,845
その他	1,316	1,899
貸倒引当金	△131	△34
流動資産合計	64,112	59,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,229	12,356
機械装置及び運搬具（純額）	14,550	18,197
土地	7,204	7,219
リース資産（純額）	1,778	1,663
建設仮勘定	6,897	5,655
その他（純額）	1,203	1,353
有形固定資産合計	42,863	46,446
無形固定資産	849	1,012
投資その他の資産	5,365	5,193
固定資産合計	49,078	52,651
資産合計	113,190	112,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,202	1,565
電子記録債務	1,024	784
1年内返済予定の長期借入金	—	1,080
未払金	4,065	2,907
未払法人税等	2,274	44
賞与引当金	1,028	1,245
役員賞与引当金	24	—
その他	6,740	3,904
流動負債合計	17,359	11,532
固定負債		
長期借入金	—	4,034
退職給付に係る負債	192	206
資産除去債務	605	597
その他	828	783
固定負債合計	1,625	5,621
負債合計	18,985	17,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,947	7,947
資本剰余金	9,609	9,609
利益剰余金	69,364	70,854
自己株式	△61	△62
株主資本合計	86,859	88,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243	368
為替換算調整勘定	7,012	6,268
退職給付に係る調整累計額	32	8
その他の包括利益累計額合計	7,288	6,645
非支配株主持分	57	57
純資産合計	94,205	95,051
負債純資産合計	113,190	112,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	39,062	34,095
売上原価	23,156	21,998
売上総利益	15,905	12,096
販売費及び一般管理費	6,639	6,675
営業利益	9,266	5,420
営業外収益		
受取利息	64	45
受取配当金	44	339
持分法による投資利益	356	277
その他	116	117
営業外収益合計	581	779
営業外費用		
支払利息	18	37
減価償却費	12	11
為替差損	67	108
その他	12	28
営業外費用合計	110	185
経常利益	9,737	6,014
特別利益		
固定資産売却益	4	176
補助金収入	439	30
特別利益合計	443	206
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	152	61
特別損失合計	154	62
税金等調整前四半期純利益	10,026	6,159
法人税等	2,836	1,627
四半期純利益	7,189	4,532
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,189	4,531

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	7,189	4,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	124
為替換算調整勘定	405	△673
退職給付に係る調整額	8	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	27	△68
その他の包括利益合計	443	△641
四半期包括利益	7,633	3,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,634	3,888
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
一時点で移転される財	21,261	3,901	4,075	9,823	39,062	—	39,062
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	21,261	3,901	4,075	9,823	39,062	—	39,062
外部顧客への売上高	21,261	3,901	4,075	9,823	39,062	—	39,062
セグメント間の内部売 上高又は振替高	7,036	98	48	154	7,338	△7,338	—
計	28,297	4,000	4,124	9,977	46,400	△7,338	39,062
セグメント利益	8,228	553	26	619	9,427	△161	9,266

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	17,488	4,166	4,320	12,873	8,909	211	39,062
割合 (%)	44.8	10.7	11.1	32.9	22.8	0.5	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……米国

(2) 欧州……フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア……中国、台湾、韓国

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
一時点で移転される財	17,756	3,184	3,730	9,423	34,095	—	34,095
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	17,756	3,184	3,730	9,423	34,095	—	34,095
外部顧客への売上高	17,756	3,184	3,730	9,423	34,095	—	34,095
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,404	90	52	248	5,795	△5,795	—
計	23,161	3,275	3,782	9,671	39,890	△5,795	34,095
セグメント利益	3,566	69	75	381	4,092	1,328	5,420

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	14,598	3,293	3,845	12,180	8,432	177	34,095
割合 (%)	42.8	9.7	11.3	35.7	24.7	0.5	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米………米国

(2) 欧州………フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア………中国、台湾、韓国

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2,729百万円	3,178百万円

3. 補足情報

(1) 品目別の受注及び販売状況

①受注金額

(単位：百万円)

品 目	2024年12月期						2025年12月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計	4 Q	年度合計	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計
特殊黒鉛製品	5,726	5,148	5,194	16,069	5,736	21,806	4,447	3,721	4,181	12,349
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	958	1,106	952	3,017	1,114	4,132	911	842	986	2,741
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,252	1,377	1,127	3,757	1,339	5,096	1,034	1,156	1,154	3,344
複合材その他製品	4,070	5,245	3,136	12,451	3,748	16,199	4,023	2,958	2,813	9,794
合 計	12,008	12,877	10,411	35,296	11,939	47,235	10,416	8,678	9,135	28,229

(注) 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注金額に含めております。

②受注残高

(単位：百万円)

品 目	2024年12月期				2025年12月期		
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q
特殊黒鉛製品	7,539	6,980	6,823	6,892	6,396	5,245	4,892
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	928	994	979	1,015	973	847	865
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	892	976	826	872	779	841	762
複合材その他製品	8,076	9,014	7,735	6,283	6,493	5,374	4,596
合 計	17,437	17,966	16,364	15,063	14,644	12,309	11,116

(注) 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注残高に含めております。

③品目別販売実績

(単位：百万円)

	2024年12月期						2025年12月期			
品 目	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計	4 Q	年度合計	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計
特殊黒鉛製品	5,899	6,284	5,752	17,936	6,048	23,985	5,215	4,988	4,866	15,070
【エレクトロニクス分野】	2,735	2,905	2,263	7,904	2,490	10,394	2,031	1,876	1,607	5,516
【一般産業分野】	2,625	2,775	2,940	8,341	2,857	11,198	2,592	2,513	2,701	7,807
【その他】	538	604	548	1,691	700	2,391	590	597	557	1,745
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	865	1,089	1,013	2,968	1,123	4,092	973	1,013	1,016	3,003
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,199	1,256	1,268	3,724	1,283	5,008	1,063	1,015	1,132	3,211
複合材その他製品	4,119	4,403	4,433	12,956	5,222	18,179	3,831	4,078	3,640	11,551
【主要3製品】	3,607	3,920	3,866	11,394	4,488	15,883	3,208	3,387	2,985	9,581
【その他製品】	512	483	567	1,562	733	2,296	622	691	655	1,969
商品	488	676	310	1,475	352	1,827	391	409	458	1,259
合 計	12,573	13,710	12,778	39,062	14,030	53,093	11,475	11,504	11,114	34,095

(2) 概況

特殊黒鉛製品

エレクトロニクス分野は、SiC半導体向けの化合物半導体製造用や単結晶シリコン製造用が大幅に減少したこと等により、前年同期比30.2%減となりました。

一般産業分野は、連続鑄造用や工業炉用等の冶金用が堅調に推移したものの、放電加工電極が減少したこと等により、前年同期比6.4%減となりました。

これらの結果、特殊黒鉛製品全体としては、前年同期比16.0%減となりました。

一般カーボン製品

機械用カーボン分野は、軸受やパンタグラフ用すり板が堅調に推移したこと等により、前年同期比1.2%増となりました。

電気用カーボン分野は、家電・電動工具向けの小型モーター用等が減少したこと等により、前年同期比13.8%減となりました。

これらの結果、一般カーボン製品全体としては、前年同期比7.2%減となりました。

複合材その他製品

SiCコーティング黒鉛製品は、シリコン半導体向けが増加したものの、SiC半導体向けが大幅に減少したこと等により、前年同期を下回りました。C/Cコンポジット製品は、工業炉用が減少したこと等により、前年同期を下回りました。黒鉛シート製品は、自動車用や半導体用、冶金用は底堅く推移したものの、特殊用途が減少したこと等により、前年同期を下回りました。

これらの結果、主要3製品は前年同期比15.9%減となり、複合材その他製品全体としては、前年同期比10.9%減となりました。